

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



活躍した年:

1420~1506年



活躍した分野:

画家



ゆかりのある場所:

宝福寺



せっしゅう

雪舟

新高見
高梁市

総社市

早倉 矢井 浅里 笠
島 敷 掛 原 口 庄 岡
町 市 町 市 町 市



せっしゅう おうえい ねん いま そうじゃしあかはま う こ しゅぎょう はい
雪舟は応永27(1420)年、今の総社市赤浜に生まれました。子どもころに修業に入
ほうふくじ なみだ ねずみ えが でんせつ し
た宝福寺で涙で鼠を描いたという伝説はよく知られています。

きょうと しょうこくじ はい ほんかくてき ぜんそう しゅぎょう すいぼくが だいひょう がか しゅうぶん
京都の相国寺に入り、本格的に禅僧として修業をはじめ、水墨画を代表する画家の周文の
しどう う
指導を受けました。

すおう いま やまぐちけん い しゅごだいみょう おおうちし うんこくあん せっしゅう
周防(今の山口県)に行き、守護大名の大内氏のもとで、雲谷庵(雪舟がアトリエとした
きゅうきよ いとな
旧居)を営みました。

おうにんがん ねん おおうちし けんみんせん どうじょう すいぼくが こぎょう ぶん ちゅうごく わた やく
応仁元(1467)年、大内氏の遣明船に同乗して水墨画の故郷の明(中国)に渡り、約
ねんかんすいぼくが まな がせい よ きこくご ぶんご いま おおいたけん
2年間水墨画を学び、画聖と呼ばれるまでになりました。帰国後は、豊後(今の大分県)や
いわみ いま しまねけん そうさくかつどう おこな じゅうすうねんご ふたた やまぐち うんこくあん お つ
石見(今の島根県)でも創作活動を行いました。十数年後に再び山口の雲谷庵に落ち着き、
かずかず すいぼくが けっさく えが
数々の水墨画の傑作を描きました。

そして、日本独自の水墨画風を確立し、画聖とよばれました。

げんぞん さくひん てん こくほう してい にほん かいがし たか ひょうか う
現存する作品のうち6点が国宝に指定されるなど、日本の絵画史で高い評価を受けていま
す。